【相互審判について】

〇大会第１日目及び第２日目の第2試合までは相互審判とします。

〇試合開始及び試合終了の際は開催地審判員（コート主任）がお手伝いします。

〇ゲームごとに対戦記録用紙に最終ポイントスコア、マッチ終了時にゲームスコアを記入してください。

〇試合中は開催地審判員（コート主任）がコートサイドにいますので、審判上困ったときは相談してください。

〇主審、副審は交替でしてください。
原則として１，３，５番の主審は番号の若い学校がしてください。

〇審判員は自分の学校に有利な判定をすることなく、公平・公正な審判を心掛けてください。

〇審判員の手引き(相互審判用）を各学校で印刷し、選手（審判員）に徹底してください。

〇各学校で日本卓球ルールブック（平成29年版）及び卓球競技の審判法（平成29年改訂版）を参考に、ルール、審判の仕方について練習してください。
特に声を出してポイントをコールするように指導してください。

※第２日目第3試合（１位トーナメント準決勝、２位・３位トーナメント決勝）からは開催地審判員が審判をします。